

## 通常兵器並びにデュアルユース貨物及び技術に対する輸出管理に関する ワッセナー協定<sup>1</sup> の2023年の成果に関する本会議議長による声明

第27回ワッセナー協定（WA）本会議は、ジャディブ マズムダル（インド）が議長を務め、2023年11月30日にウィーンで開催されました。

2023年、WAは、通常兵器並びにデュアルユース貨物及び技術の移転、その結果として不安定にする蓄積の防止において、透明性と より大きな責任を喚起することにより国際的及び地域的安全保障及び安定に貢献する努力を続けてきました。WA規制品リストは、国際的な安全保障の発展、技術革新及び市場動向を考慮して、更新及び改善作業されてきました。WAは効果的な輸出管理を世界に広めるため、非参加国や関連する国際機関及び地域機関を対象としたアウトリーチ活動に取り組みました。強化技術説明会は2018年以来初めて開催され、WA規制品リストの最近の変更と輸出管理の実施に関して、非参加国に説明する機会を提供しました。

2023年中、WA参加国は：

- 紛争地域を含む特定の地理的懸念地域への武器及びデュアルユース貨物・技術の移転、並びに不安定にさせる可能性がある武器の流れに関連するリスクについて引き続き情報交換を行いました。
- 武器の転用やテロリストによる通常兵器並びにデュアルユース貨物及び技術の取得を防ぐ上で、強力な輸出規制と緊密な協力により果たされる重要な役割を再確認しました。
- WA規制品リストについて、継続的な妥当性を確保するため、包括的かつ体系的な見直しを継続しました；
- 特定の電子部分品の生産に使用される装置を含む新たな規制の採択；高性能電子機器に関する既存の規制の更新；並びにソナー、光学センサー、特定のロケット推進技術、暗号化／復号化、及び合法的な通信傍受を可能にする技術を含む規制品リストのエントリーの明確化を行いました；

---

1 通常兵器並びにデュアルユース貨物及び技術に対する輸出管理に関するワッセナー協定は、1996年7月に採択されたイニシヤルエレメントに基づき設立されました（[www.wassenaar.org](http://www.wassenaar.org)参照）。通常、会議はワッセナー協定が本拠地とするオーストリアのウィーンで開催されます。ワッセナー協定の42の参加国は以下の通りです：アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、クロアチア、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、インド、アイルランド、イタリア、日本、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、韓国、ルーマニア、ロシア、スロベニア、スロバキア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、ウクライナ、イギリス及びアメリカ合衆国。

- － 輸出許可及び執行実務を含め、各国の輸出管理の施行における経験を共有しました；
- － 2011年に最初に採択された“第三国間における通常兵器の輸送を規制するためのエレメント”及び2018年に最後に改正された“産業界に対する助言的質問のリスト”を含む輸出規制の実施に関する公開文書のいくつかを更新しました；
- － ミサイル技術管理レジーム（MTCR）及び原子力供給国グループ（NSG）と専門家レベルで管理リストの問題に関する非公式な技術接触を維持しました；そして
- － 現在の会員申請の進捗を確認しました。

2024年1月1日からは、イタリアが本会議の議長国を務め、オーストリアがゼネラルワーキンググループの議長国を務め、カナダが輸出許可・執行当局者会議の議長を務めます。メキシコが引き続きエキスパートグループの議長国を務めます。

今回のワッセナー協定の通常本会議は、2024年12月にウィーンで開催される予定です。

コントロールリスト及びベストプラクティスガイドラインを含むWAのすべての主要文書は、WAのウェブサイト ([www.wassenaar.org](http://www.wassenaar.org)) で公開されています。

ウィーン、2023年11月30日